

# なのはな

NPO法人 なのはな

◇あおぞらキンダーガーデン

◇まほろば

◇わとと・あおぞら

〒420-0961 静岡市葵区北226-1

TEL/FAX 054-246-2213

E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp

npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp

URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

## イメージする心の落とし穴？！

『子どもは、元気で腕白が良い』と某ハンマーメーカーの宣伝。こんな時皆さんは、どんな子どものイメージを持ちますか？

バックに流れる映像と重なり合わせると、多分「元気に泥んこになって夢中になって遊ぶ」そんな子どもの姿ではないでしょうか？

乳児期は、体の発達も十分でなく、どこでも座り込んであそびを展開します。着替えた後、手を洗いに行つてびしょぬれになり、すぐ着替える、食事後も着替えるのは、当たり前光景ですね。

そんな子ども達が4歳児くらいになると（泥んこプールとか田んぼとか山登りなどは、別ですが）しゃがんでも座り込まずに遊び、泥んこや手を洗う時には、腕をめくる姿が見られます。汚れないように気遣える体や心の育ちです。

「汚れる＝夢中になって元気にあそぶ」ことではないのです。

子どもは、自分で出来る力（食事・排泄・清潔・睡眠など）を育てながら遊んでいるのです。

大人は、イメージをすることが、固定的にならないようくれぐれも気をつけたいですね。

子どもは、いつも大きくなりたいと生きている存在であること。いつも覚えておきたいですね。（おか）

## あおぞらの保育1～鬼退治～

毎年、幼児は、この時期になると「そわそわ」「ドキドキ」の子ども達。中には「園に行きたくない」と言う子ども達も。何故かと言えば「北の山から鬼がうまそうな子どもの肉を食べに行く」という手紙が来るからです。

この手紙を見て泣く子もいるのですが、そこは、5歳児。

「何とか鬼退治が出来ないか」「たしか前のたいよう（5歳児）も戦った」と当日鬼が来る日まで5歳児は勿論、4歳は4歳なりに3歳は3歳なりに頭をフル回転して当日を迎えます。

そんなに脅かさなくても・・・と思う方もいらっしゃると思いますが、見えない世界を信じる世界で「本当に怖いこと」を「なかま」と考え「乗り越える」経験は、子どもの心に挑戦する心・達成感を育てます。それは、自分を支える心の礎（自尊心）の育ちに繋がり、年1回の『鬼退治』を大切にとりくんでいます。

# あおぞらだより

H22年度よりにじ組に入園するお友だちが、1月22日にあおぞらキンダーガーデンに親子で遊びに来てくれました。この1日入園を機に、園児たちも大きくなる事を意識し始め、また大きくなる事に喜びを感じ、胸をふくらませています。春が待ち遠しくなりますね。

(ゆう)

## にじさん(3歳児)

自分たちより小さい子=「赤ちゃん」が来る！  
なんて、楽しみにプレゼント作り。  
2度目のクッキー作りに挑戦しました。それまでは、「赤ちゃんにクッキーあげる。プレゼント！」なんて言っていたのに、ホカホカ・クンクンおいしそうなクッキーが焼きあがったら「…あげたくない」なんていう声も聞こえてきて、なんと3歳児らしいですね。  
当日は、小さなお客さんにクッキーを手渡してお兄さん・お姉さん気分を味わいました。大きくなるって嬉しいね！

## そらさん(4歳児)

そらさんは、ただ今「おうちさんぽ」でみんなのおうちを案内してもらうさんぽを楽しんでいる真最中。

今回は、自分たちのおうちを作って小さな子を招き入れようという素敵なアイデアで段ボールや布を使ってお部屋の中や軒下に素敵なおうちを作りました。

2つのおうちを結ぶ段ボール電車も登場。作っている最中は思いやアイデアがぶつかりあって、けんかもししばしば…。

それでも当日は、みんなで役割分担しながら、小さなかわいいお客さんをみんなで上手にエスコートして、おうちの中や電車にのせてくれました。

「もうすぐたいようさん」が近づいてきた1日でした。

## たいようさん(5歳児)

ふだんも、にこるんほし当番で小さな子のお手伝いをしてきている、幼稚園で一番大きなお兄さん・お姉さん。小さい子のお世話やお手伝いはお任せです！

小さい子の喜ぶこともよく知っているよとばかりに、たいようさんは「手あそび」「まり」「こま」「人形げき」かわるがわる見せてくれ、大拍手！「魚釣りゲーム」もやらせてくれました。

小さな子が喜んでくれたね！うれしいね！大成功したからパーティしよう！と、翌週もちつきパーティも開いてお祝いしました。

小さい子の喜ぶ姿を自分たちの喜びにできるたいようさん。

もうすぐ一年生なんだねえ…

一日入園ありがとうございました。

たいようさんのだしもの、今日までにみんなで話し合ったり練習してきてくれたのだから、心がじんわり温かくなりました。そして、そらさんの電車に乗って素敵なお家でごちそうをつくってもらったり、にじさんの手作りクッキーをプレゼントしてもらったり、それぞれが小さな子たちが楽しめるように、精一杯おもてなししようとしてくれていることを、Kもしっかり受け止めているように感じました。

あおぞらのこどもたちは、なんだかキラキラしていて、一人一人がとてもいい顔をしていますよね。私は改めて感動し、4月からあおぞらの仲間になってゆけることをとても嬉しく楽しみになりました。

たいようさんが、みんなで歌ってくれた時、Kも自然に大きな口をあけて歌っている姿が心に残っています。

帰ってからも「おおききようちえん、たのしかった。またいきたいなー」って、何度もいっていました。

1日入園に遊びに来てくれた方からも感想が届きました。ありがとうございます。

## まほろばの部屋から

### 「母親(=私)の育ち」

よく、子どもが1歳ということは、母親も1歳で、一緒に成長していく…みたいなことは言われます。正直、「そんなこと言われても」って思います。

わが子が2歳8カ月っていうことは、私も親になって2歳8カ月。

でも、子どものほうが、少し先を行っているような気がします。後から私が付いて行っているような気がします。

子どもと折り合えないとき、何だかうまくいかないなぁと感じるときは、だいたい子どもが大きく育った後のように思います。こちらの接し方と、子どもの姿がちぐはぐになっているんだらうと思います。

それを感じて、私は試行錯誤をして、わが子と私が穏やかに過ごせるやり方を見つけます。

あの手、この手を考え出すのです。

子どもが大きく育って変化した後、私が親として変化している感じです。

時間がかかることも、そもそも我が子の成長に気がついてあげられないほどの余裕のない時もありますが…

<あきこ>

今年度、「<育てられる者から<育てる者>へ(NHK出版 鯨岡峻著)」という本でスタッフの学習をしています。これまで、<育てられる者>であった私たちは、子どもが生まれるというその1点のポイントで、<育てる者>にコペルニクス的な転回をせざるを得なくなるそうです。<育てる者>は自分の思いと、自分の子ども<育てられる者>の思いの間で、バランスを取らなくてはいけないのです。しかし、そんなにすぐに移行できるわけではなく…。立場が変わるだけでなく、質の変換も求められるのだから。子どもが育てば、違った思いが出てくるから、また関わりを変えたりしながら、親(=育てる者)として、成長していくのですよね。自ら意識しながらの成長という点が、子どもとは違う点かもしれませんが。<ハル>

2010年度より、

## 未就園児のコースを開催します!!

参加児  
募集中

- ・親子での活動ではなく、集団(幼稚園・保育園)に入る前の、子どもだけの小さな集団生活です。
- ・保育者(親ではない大人)との関係づくりを丁寧に行います。
- ・着替えをしたり、給食を食べたりと、基本的な生活習慣づくりのお手伝いをしていきます。

曜日	回数	時間	保育料	定員
月曜日	月2回	10:00~13:00	15,000円/月	3名
水曜日	月4回	10:00~13:00	30,000円/月	3名

# わとと・あおぞら



静岡市・歳末助け合い「地域福祉事業」

## 獅子舞・紙芝居屋さんがきたよ。

平成22年1月30日(土) 於：わとと・あおぞら

出演：獅子舞・・・若駒会 紙芝居・・・おしか座 市川光雄さん

当日は、約50組の親子が集まってくださり、約一時間、日本の文化である獅子舞や紙芝居を楽しむことができました。参加して下さった皆さん、ありがとうございました。

参加者の皆さんの楽しかった感想の一部をご紹介しますね。

獅子舞の意味を、初めて知りました。かまれると病気にならないとか、頭がよくなる・・・なんて言われること、初めて知りました。来てよかったあ。

ごめんなさい。こんなに、すばらしい会とは、想像してなかった本当によかったです。ありがとうございました。

土曜日にやってくれてお父さんもこれでこの会は、よかったしいつも私が来ているわととを、口で説明していたけど、実際に見てもらえて、よかったです。土曜日でもやってもらいたい。獅子舞の意味を、初めて知りました。

紙芝居屋さんって、初めて見ました。役者さんの演技方が素敵でした。

はじめての獅子舞を観て、私(ママ)が、本当に楽しかったよ。

子どもが絶対に泣くからどうしようと思ったけど、泣くのがいいんだよと、言ってくれた意味がわかりました。来てよかったです。

今回の取り組みでは、泉町の町内の方々にチラシを配らせていただきました。町内会長さんもわととにきていただき「大事な活動をしているね」と言ってくださいました。そして、当日も町内から参加して下さいました。

今回の活動が、子育ての輪作りの新しい1歩となったことに感謝し、これからも地域の皆さんとの交流を大切に作っていきたいと思っています。

獅子舞をみて今年1年の健康を願ったみなさん。

今年も元気に過ごしましょうね。ありがとうございました。(せり)